

財務諸表に対する注記

平成28年3月31日現在

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸の評価基準及び評価方法
棚卸の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、総平均法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定率法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額に基づき計上している。
貸倒引当金
一般債権・・・期末保有債権につき、貸倒実績率に基づき計上している。
貸倒懸念債権・・・期末保有債権につき、債権金額の50%相当額を計上している。
賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金積立資産	318,000,000			318,000,000
退職給付引当資産	35,064,700	0	0	35,064,700
財務調整引当資産	118,000,000		33,000,000	85,000,000
公益目的特定事業引当資産	94,500,000	33,000,000	21,000,000	106,500,000
国際学校奨学金引当資産	7,006,362		0	7,006,362
留学生支援募金事業引当資産	2,244,806		866,181	1,378,625
小計	574,815,868	33,000,000	54,866,181	552,949,687
合計	774,815,868	33,000,000	54,866,181	752,949,687

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	200,000,000	0	—
小計	200,000,000	200,000,000	0	—
特定資産				
運用基金積立資産	318,000,000	318,000,000	0	—
退職給付引当資産	35,064,700	0		35,064,700
財務調整引当資産	85,000,000	0	85,000,000	—
公益目的特定事業引当資産	106,500,000		106,500,000	—
国際学校奨学金引当資産	7,006,362	7,006,362	0	—
留学生支援募金事業引当資産	1,378,625	1,378,625	0	—
小計	552,949,687	326,384,987	191,500,000	35,064,700
合計	752,949,687	526,384,987	191,500,000	35,064,700

4 担保に供している資産

該当なし

5 保証債務等の偶発債務

該当なし

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
大阪府債	20,000,000	20,026,180	26,180
大阪市債	260,000,000	268,714,600	8,714,600
みおつくし債	30,000,000	30,026,160	26,160
国債	208,000,000	237,352,000	29,352,000
合計	518,000,000	556,118,940	38,118,940

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
大阪市交付金	大阪市		28,242,442	28,242,442	0	—
合計		0	28,242,442	28,242,442	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
受取寄付金への振替額	2,795,361
合計	2,795,361